

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄返還協定批准書交換式

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43575

官房長官

(署)

詔語

沖縄過邊協定批准文書に關す
官房長官上記證(案)

鮮平1月十七日署名された沖縄過邊協
定批准書が本日午後三時半より酒田外
務大臣とマサト野大臣大使と内閣にて交換す
れ在ニモして返還協定簽約に於の手
續が乞うアシタニシ工成に慶賀にたゞ加
入

政府として(印)

ルから

二種より
國民と共に一歩とせば次第アリテ
佐々木義理とニクソノ大統領
浦瀬昌子(オカキヨ)と向のサンクレメンテニ
おける会見のとおり平年5月15日午前零時を以
て沖縄の軍工復帰が実現する次第ア
なりました。政府エレベニ五
年半が一戦後二十数年間にわたる沖縄復民
の號称の方の(吉川)草原翠夫氏、政府として
復帰後沖縄半島の立候、江口、福井の一人

の發展のために更に努力する決意であります。この
とより機会があり乍ら表明する次第であります。
また、
取扱いは復帰までの二ヶ月内に於いて、諸
般の復帰準備に専念するのも期し、円滑
な実施が最も望ましいと実現し、豈論一年和
な沖縄県と作るよう金意努力を重ね
沃意であります。

沖縄返還協定批准書交換に関する官房長官談話

(案)

昭和四七、三、一三
アメリカ局北米第一課

昨年六月十七日に署名された沖縄返還協定の批准書が、本日午後三時すぎ福田外務大臣とマイヤー駐日米国大使との間で交換され、これをもつて返還協定発効のための手続が完了したことはまことに慶賀にたえません。政府としては、国民の皆様とともにこれを心から喜ぶ次第であります。

これにより、佐藤総理とニクソン大統領との間のサン・クレメントにおける合意のとおり、本年五月十五日を期して沖縄の本土復帰がいよいよ実現することとなりました。政府としては、ここに戦後二十数年間にわたる沖縄県民の皆様方の御労苦に思いをいたし、復

くわざ

帰後の沖縄県の経済、社会、福祉の一層の発展のためにさらに努力する決意であることを表明する次第であります。

また、復帰までの二ヵ月間ににおいて、諸般の復帰準備に遗漏なきを期し、円滑なる施政権の返還を実現し、日本国憲法の下において豊かで平和な沖縄県を造るよう鋭意努力を重ねる決意であります。

准書交換確認後使用のこと

昭、四七、三、一五

沖縄返還協定批准書交換に関する官房長官談話

本日、沖縄返還協定の批准書が、福田外務大臣とマイヤー駐日米国大使との間で交換され、これをもつて返還協定発効のための手続は完了し、本年五月十五日を期して、沖縄の復帰がいよいよ実現することとなりました。まことに慶賀にたえません。国民各位とともに心からこれを喜びたいと思います。

思えば、沖縄の祖国復帰は、戦後長きにわたる国民の宿願であります。今日、ここまで漕ぎつけることができたのはひとえに沖縄県民をはじめ、国民各位のみなみならぬご努力の賜であります。沖縄百万の同胞は、戦後のわが国が講和条約の発効によつて独立を回復し、復興から繁栄へと急速な発展の道を歩む間、ひとり外国の施政権下に

あつて、筆舌につくし難いご苦労をされたのであります。われわれはこのことをしつかりと認識し、復帰後の沖縄県建設に國をあげて取り組まなければならぬとと思うのであります。これこそ、戦中、戦後を通じ、多大の犠牲を払つてこられた沖縄の人々のご労苦に酬ゆる道であると確信いたします。

政府は新生沖縄県の経済・社会の発展を図り、県民の福祉を充実し、平和で豊かな沖縄県を目指して鋭意努力する決意であります。また、復帰までの二ヵ月間、施政権の円滑な返還を実現するため、諸般の準備に万全を期してまいる所存であります。

国民の皆さん、五月十五日には、沖縄百万県民を暖かく迎え入れ、ともに力をあわせて、祖国日本の発展と国際間の平和維持にさらに努力しようではありませんか。

沖縄の皆さん、長い間本当にご苦労さまでした。